

# 電気通信事業分野における 最近の動向について

～電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期  
データ(平成26年度第1四半期(6月末))～

---

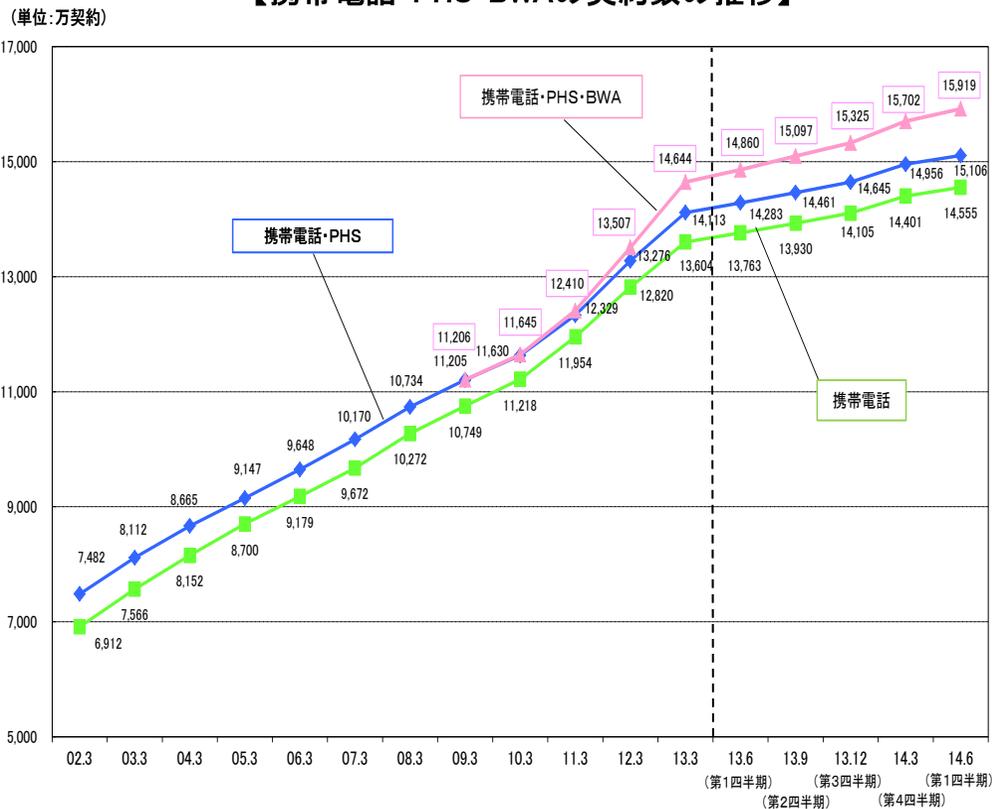
平成26年10月31日

総務省 総合通信基盤局  
電気通信事業部 事業政策課

# 1. 携帯電話・PHS・BWAの契約数の推移

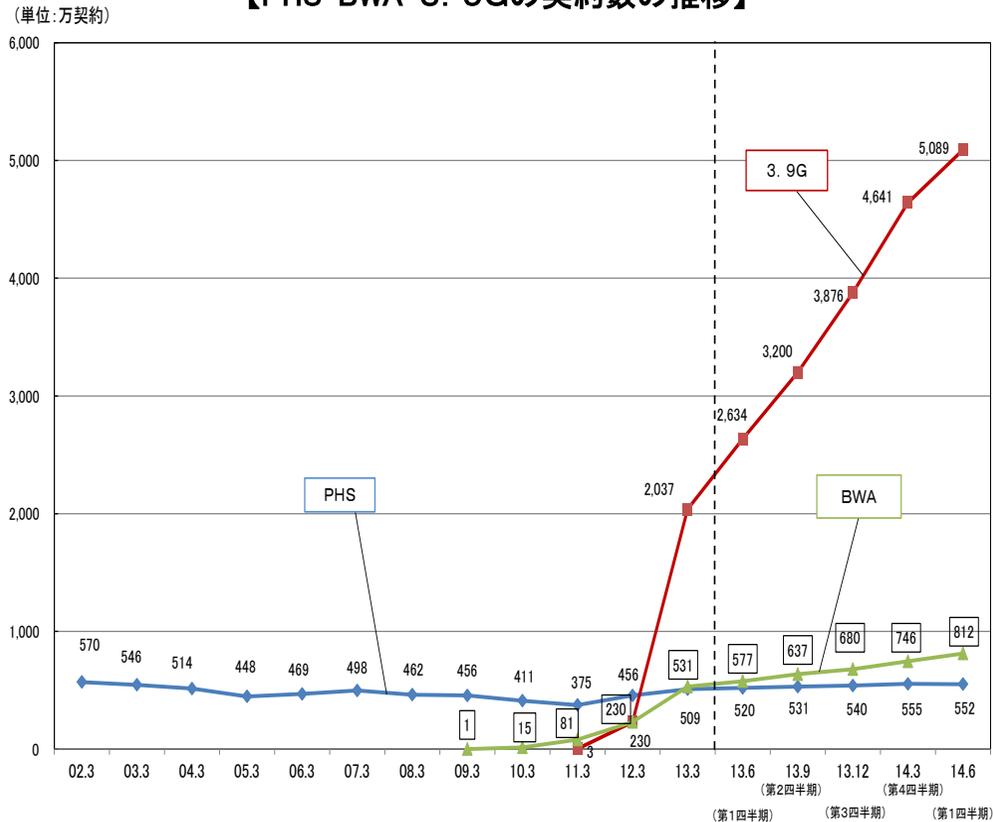
- **携帯電話・PHS・BWAの契約数は、1億5,919万（前期比+1.4%、前年同期比+7.1%）。**
- **内数としては、携帯電話は1億4,555万（前期比+1.1%、前年同期比+5.8%）、PHSは552万（前期比▲0.5%、前年同期比+6.1%）、BWAは812万（前期比+8.9%、前年同期比+40.8%）。**
- **3. 9世代携帯電話(LTE)の契約数は5,089万（前期比1.1倍、前年同期比1.9倍）で、携帯電話の契約数に占める割合は35.0%（前期比+2.7ポイント、前年同期比+15.8ポイント）。**

【携帯電話・PHS・BWAの契約数の推移】



注1：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。以下同じ。

【PHS・BWA・3. 9Gの契約数の推移】

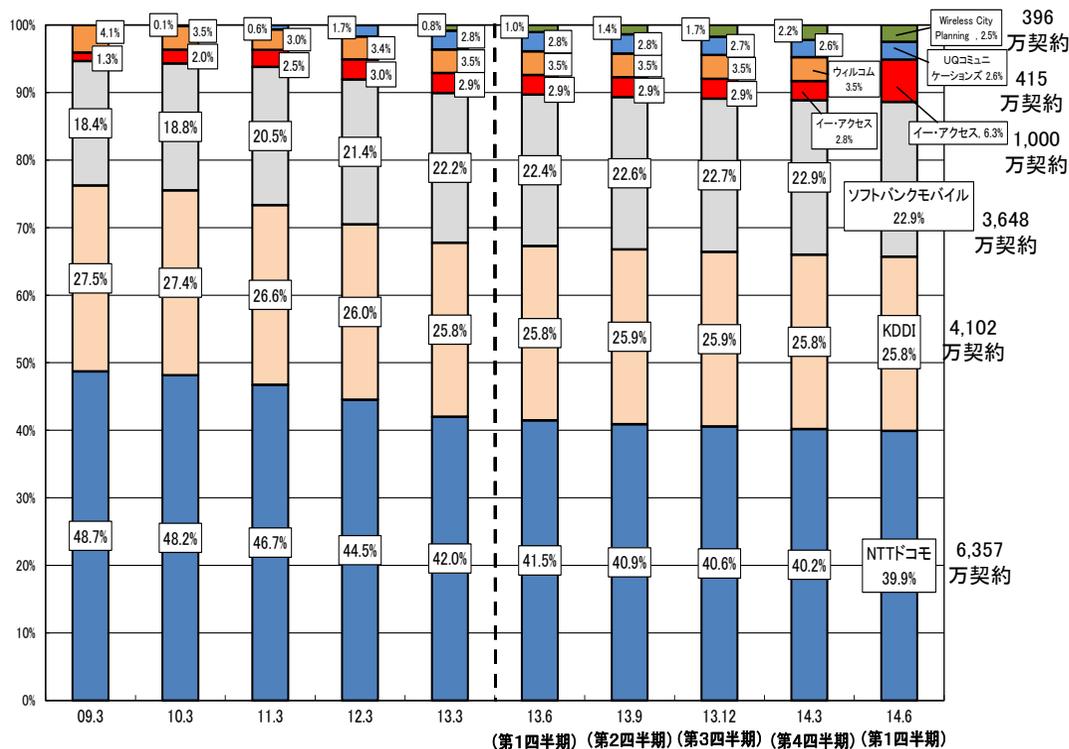


注2：携帯電話・PHS・BWAの総数には、それぞれのMVNOの契約数も含む。

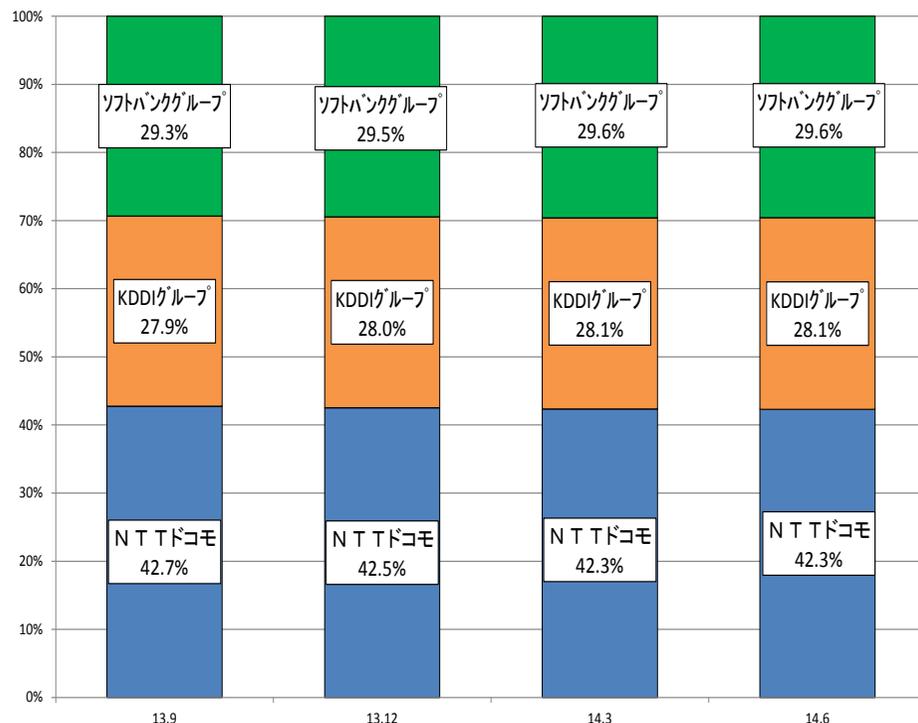
## 2. 携帯電話・PHS・BWAの契約数における事業者別シェアの推移

- 携帯電話・PHS・BWAの契約数におけるNTTドコモのシェアは39.9%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.5ポイント）。
- 上記契約数におけるKDDIのシェアは25.8%（前期比▲0.1ポイント、前年同期比±0ポイント）。
- 上記契約数におけるソフトバンクモバイルのシェアは22.9%（前期比±0ポイント、前年同期比+0.5ポイント）。
- 携帯電話・PHS・BWA契約数におけるグループ内契約数の重複排除後のNTTドコモのシェアは42.3%、KDDIグループのシェアは28.1%、ソフトバンクグループのシェアは29.6%。

【携帯電話・PHS・BWAの契約数における事業者別シェアの推移(個社別)】



【携帯電話・PHS・BWAの契約数における事業者別シェアの推移(グループ別)】

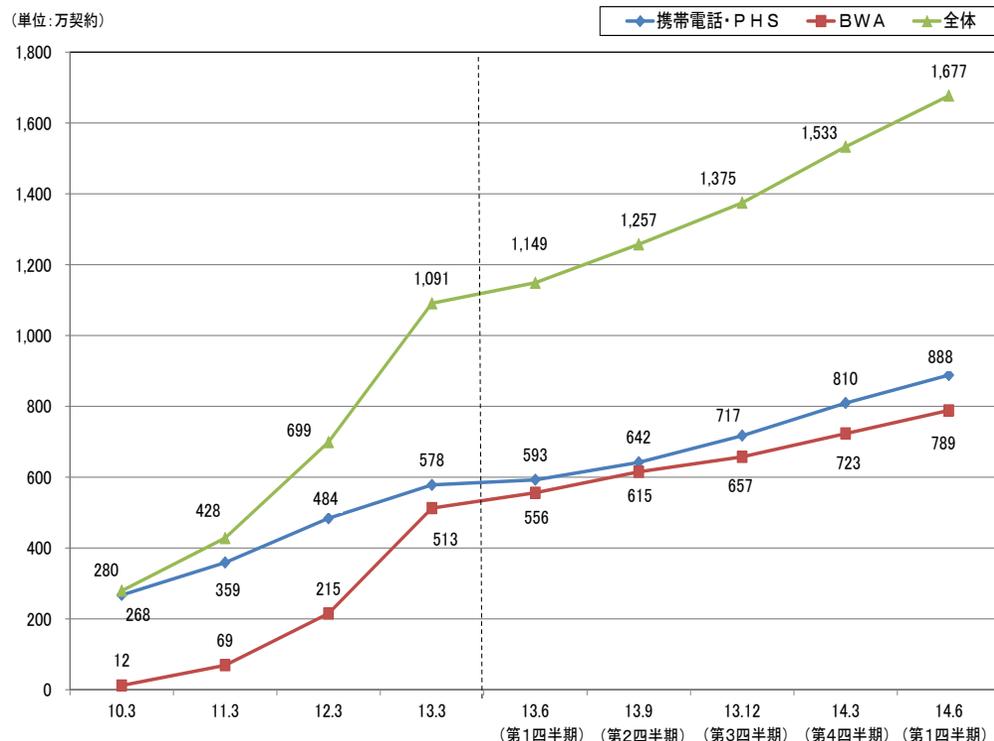


注1：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。以下同じ。  
 注2：KDDIのシェアには、沖縄セルラーが含まれる。  
 注3：ワイコムは2014年6月1日付けでイー・アクセスにより吸収合併。その後、同年7月1日付けでワイモバイルに社名変更しているが、本データは2014年度第1四半期のものであることから、「イー・アクセス」としている。  
 注4：シェアの算定に当たっては、MNOであるMVNOとの間の契約を含む契約数を使用しているため、利用者との間においては一つの契約となっているものが、複数のMNOでそれぞれ計上されている場合がある。

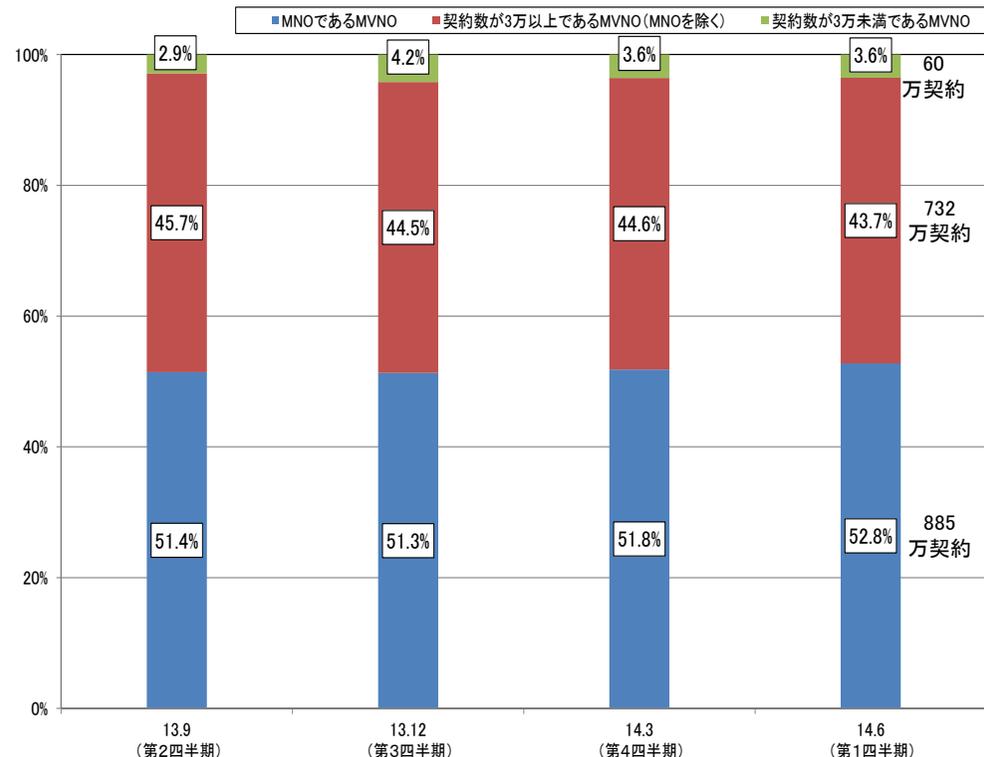
注1：KDDIグループのシェアには、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズが含まれる。  
 注2：ソフトバンクグループのシェアにはイー・アクセス、ワイコム（2013年度第4四半期まで）及びWireless City Planningが含まれる。  
 注3：グループ化のシェアについては、重複したグループ内契約数を排除したのとなっているため、個別のシェアを単純合算した場合の数字（2014年度第1四半期においては、NTTドコモ：39.9%、KDDIグループ28.4%：KDDI25.8%+UQコミュニケーションズ2.6%、ソフトバンクグループ31.7%：ソフトバンクモバイル22.9%+イー・アクセス6.3%+Wireless City Planning 2.5%）とは異なってくる。

- MVNOサービス全体の契約数（携帯電話・PHS・BWAの契約数の内数）は、1,677万（前期比+9.4%、前年同期比+46.0%）。
- 携帯電話・PHSに係るMVNOサービスの契約数（携帯電話・PHS契約数の内数）は888万（前期比+9.7%、前年同期比+49.9%）、BWAに係るMVNOサービスの契約数（BWA契約数の内数）は789万（前期比+9.0%、前年同期比+41.8%）。
- MVNOサービスの契約数のシェアについては、MNOであるMVNOは52.8%（前期比+1.0ポイント）、契約数が3万以上であるMVNO（MNOを除く）が43.7%（前期比▲0.9ポイント）。
- MVNOサービスの事業者数は165社（前期比+2社）。

【MVNOサービスの契約数の推移】



【MVNOサービスの契約数におけるシェアの推移】



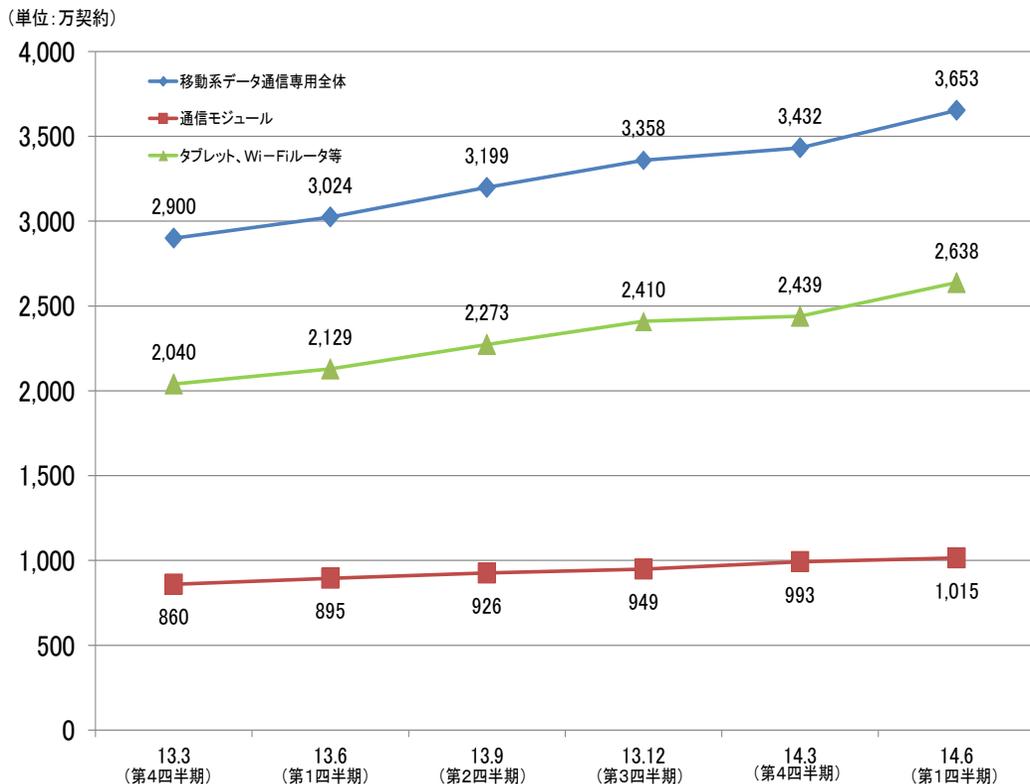
## 4. 移動系データ通信専用サービスの契約数・シェアの推移

- 移動系データ通信専用サービス※1の契約数は3,653万(前期比+6.4%、前年同期比+20.8%)となっており、通信モジュール※2は1,015万(前期比+2.3%、前年同期比+13.4%)、タブレット、Wi-Fiルータ等は2,638万(前期比+8.1%、前年同期比+23.9%)。
- 移動系データ通信専用サービスの契約数のシェアについて、携帯電話・PHSは77.8%(前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲3.2ポイント)、BWAは22.2%(前期比+0.5ポイント、前年同期比+3.2ポイント)。

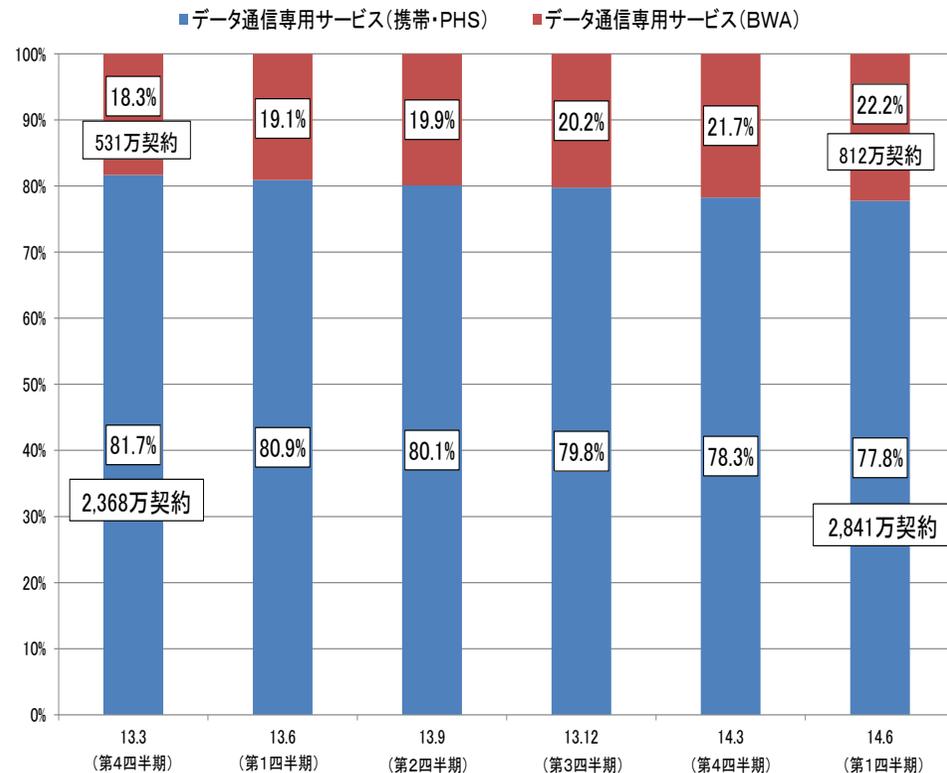
※1 携帯電話・PHSアクセスサービスのうち、提供する回線において音声伝送役務が提供されていないもの及びBWAアクセスサービスの合計。

※2 通信モジュールとは、自動販売機、デジタルフォトフレーム等の機器に組み込み、機械同士のデータ通信等に利用される部品(モジュール)をいう。

【移動系データ通信専用サービスの契約数の推移】



【移動系データ通信専用サービスの契約数におけるシェアの推移】

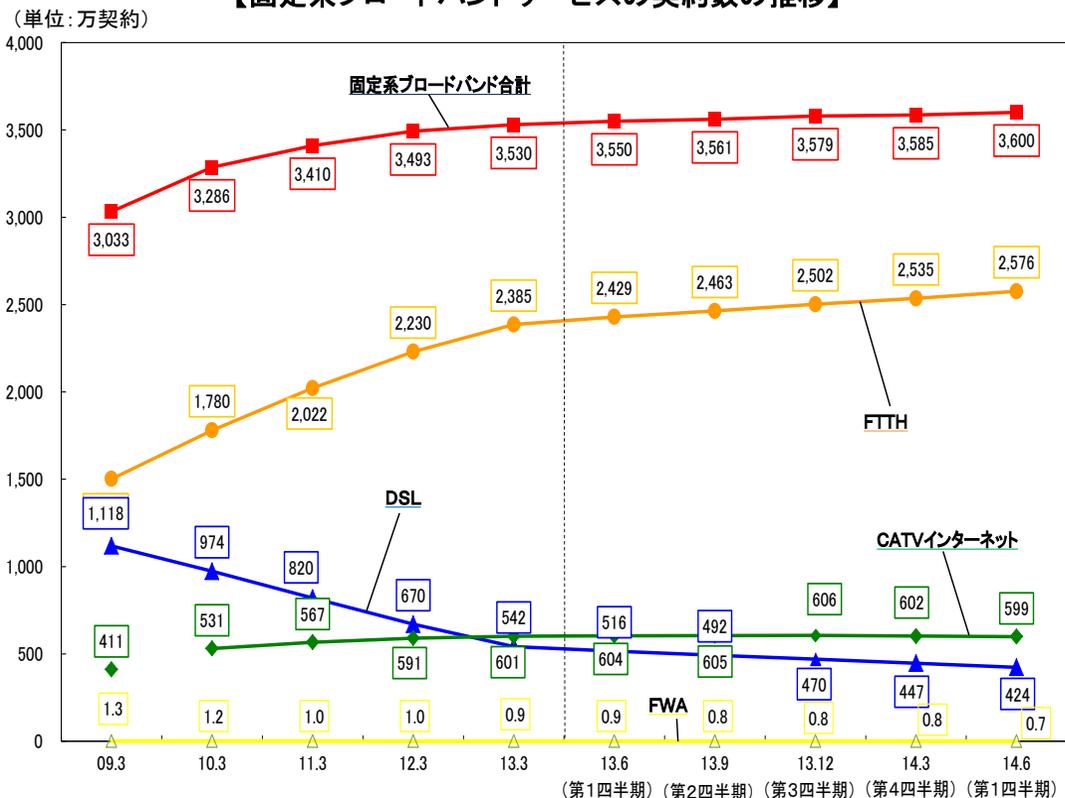


# 5. 固定系ブロードバンドサービスの契約数・シェアの推移

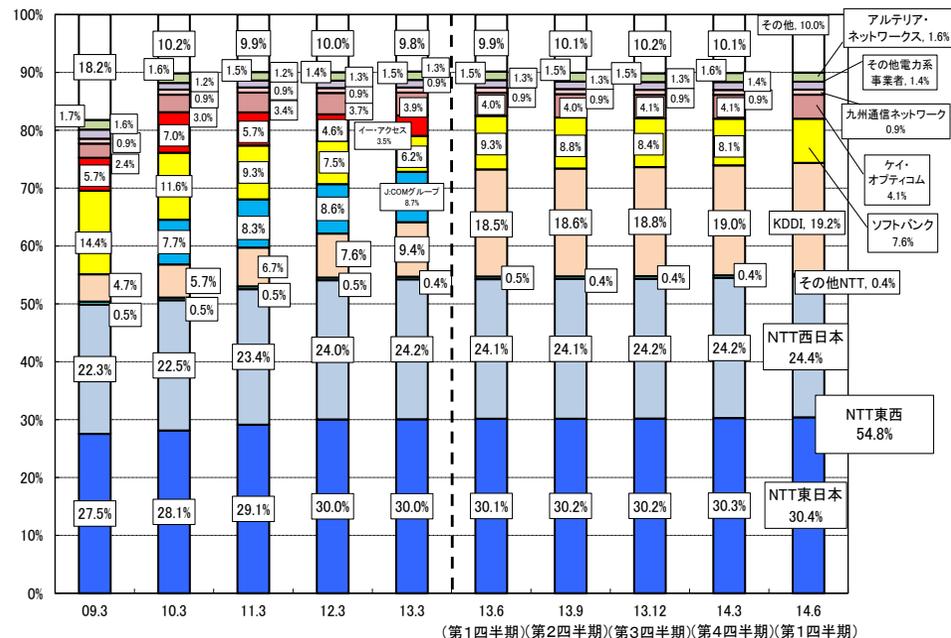
- **固定系ブロードバンドサービス\*の契約数は、3,600万（前期比+0.4%、前年同期比+1.4%）。**
- **FTTHの契約数は2,576万（前期比+1.6%、前年同期比+6.0%）。**
- **DSLの契約数は424万（前期比▲5.2%、前年同期比▲17.8%）。**
- **固定系ブロードバンドサービスの契約数におけるNTT東西のシェアは、54.8%（前期比+0.3ポイント、前年同期比+0.5ポイント）。**

※ FTTHアクセスサービス、DSLアクセスサービス、CATVアクセスサービス及びFWAアクセスサービスの合計

【固定系ブロードバンドサービスの契約数の推移】



【固定系ブロードバンドサービスの契約数における事業者別シェアの推移】

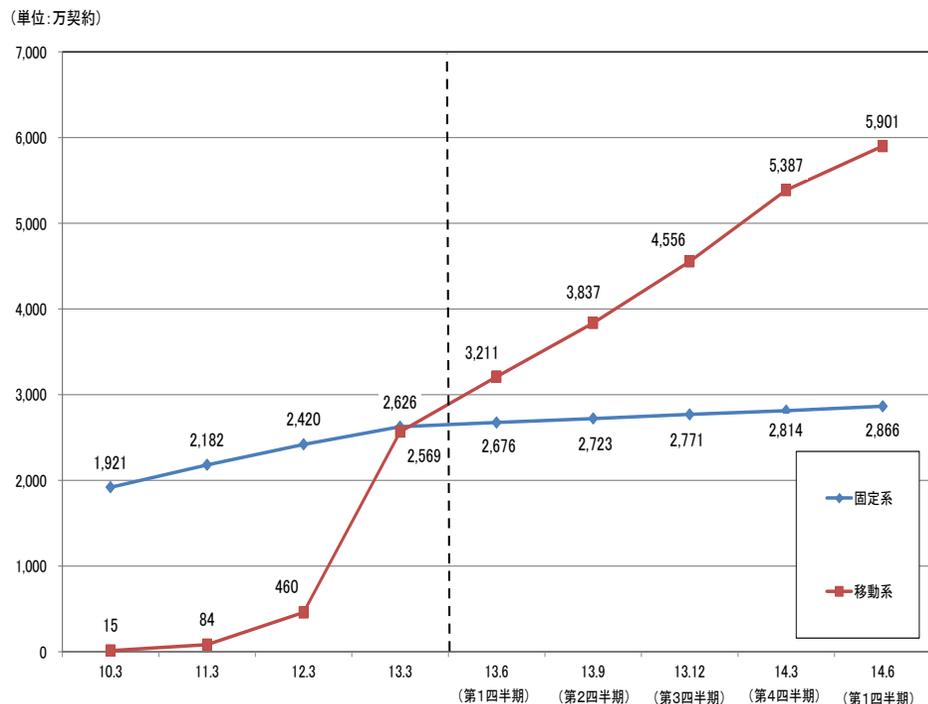


注：一部の事業者より契約数について集計方法の変更が報告されたため、2010年3月末の固定系ブロードバンド合計及びCATVインターネットの契約数及びシェアについて、前期との間で変動が生じている。

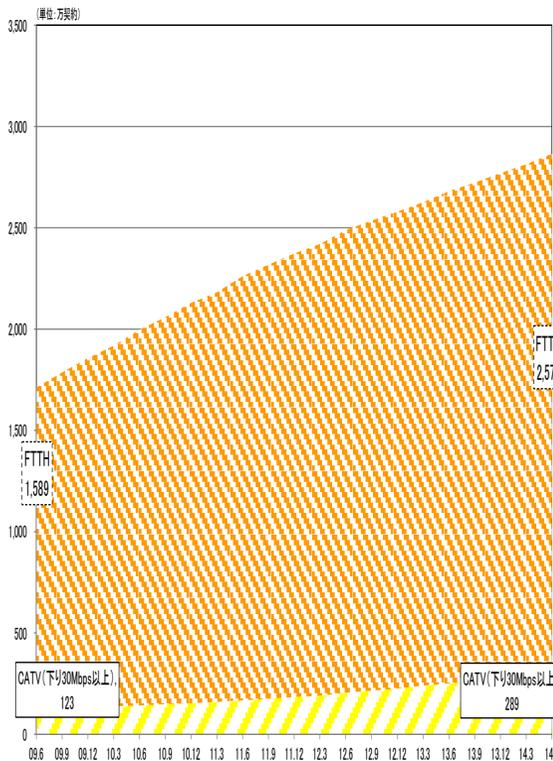
注1：この固定系ブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネットを対象としており、FWAアクセスサービスを含んでいない。  
 注2：イー・アクセスのシェアには、アッカ・ネットワークスの契約数が含まれる（2009年度以降）。以下この「2 データ通信」において同じ。  
 注3：KDDIのシェアには、沖縄セルラ、JCN、CTC、OTNet（2009年度第4四半期以降）及びJ・COMグループ（2013年度第1四半期以降）が含まれる。また、ソフトバンクのシェアには、イー・アクセス（2013年度第1四半期以降）が含まれる。以下この「2 データ通信」の（2）①及び②において同じ。  
 注4：J・COMグループのシェアについては、2008年度第4四半期までは、その他に含む。  
 注5：その他NTTのシェアには、NTT MEDIA S、NTT-ME及びNTTビジネスソリューションズが含まれる。  
 注6：その他電力系事業者のシェアには、北海道総合通信網、東北インテリジェント、北陸通信ネットワーク、四国通信ネットワーク、エネルギー・コミュニケーションズ、ファミリーネット・ジャパン、テブコンシステムズ及びクイオプティ・サイバーポート（2010年度第4四半期まで）が含まれる。以下同じ。  
 注7：NTT東西のシェアについては、四捨五入の関係上、グラフ中の合計値と合わない場合がある。以下同じ。  
 注8：UCOMは丸紅アクセスソリューションズと合併し、アルテリア・ネットワークスに社名変更（2013年度第4四半期以降）。以下同じ

- **固定系超高速ブロードバンドサービス※1の契約数は、2,866万（前期比+1.8%、前年同期比+6.9%）。**
  - **移動系超高速ブロードバンドサービス※2の契約数は、5,901万（前期比+9.5%、前年同期比+83.8%）。**
- ※1 FTTHアクセスサービス、及び通信速度下り30Mbps以上のCATVアクセスサービスの合計  
 ※2 3. 9Gアクセスサービス及びBWAアクセスサービスの合計

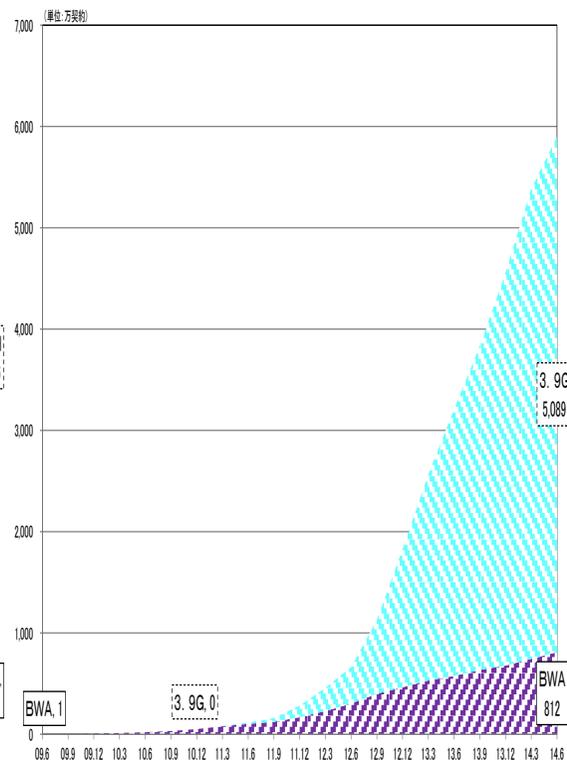
【超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移】



【固定系超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移】



【移動系超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移】

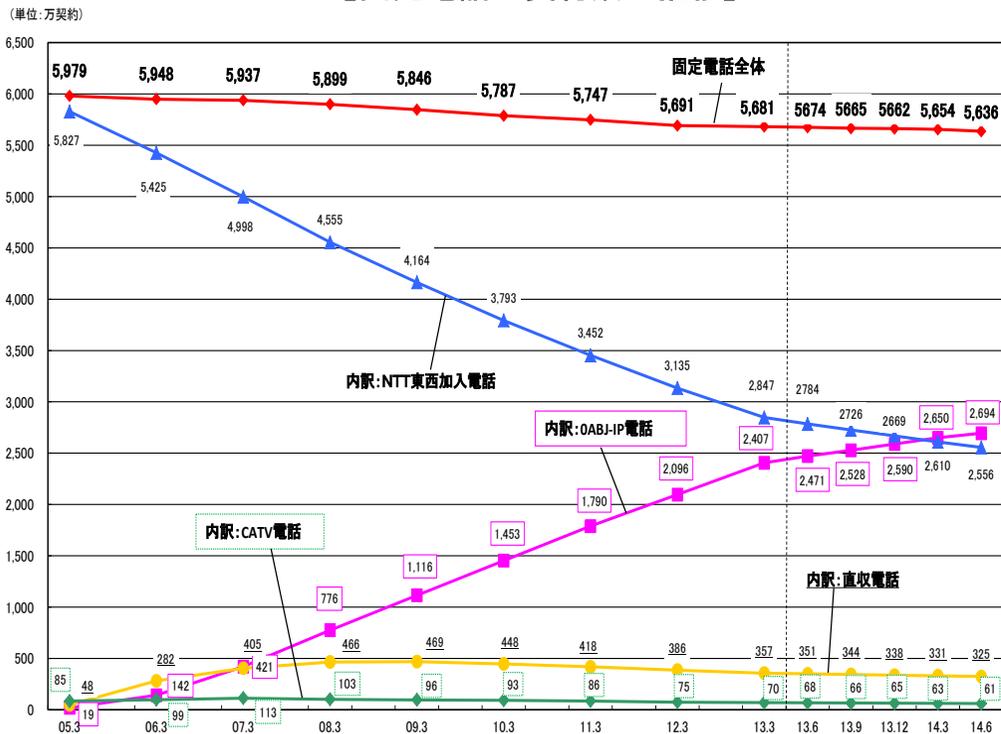


# 7. 固定電話の契約数・シェアの推移

- **固定電話\*全体の契約数は、5,636万（前期比▲0.3%、前年同期比▲0.7%）。**
- **固定電話契約数全体のシェアについて、NTT東西（NTT東西加入電話及びNTT東西OABJ-IP電話の合計）は74.4%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.5ポイント）、KDDIは18.6%（前期比+0.1ポイント、前年同期比+1.1ポイント）。**
- **固定電話全体からOABJ-IP電話を除いた契約数は、2,942万（前期比▲2.1%、前年同期比▲8.2%）。**

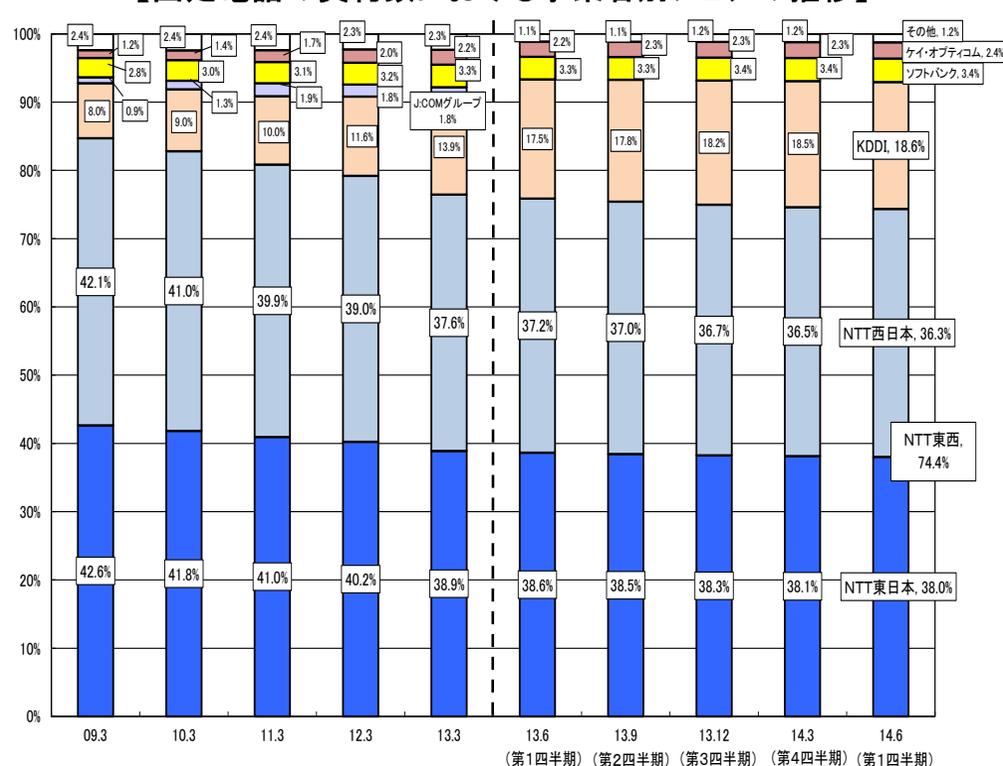
※固定電話とは、NTT東西加入電話（ISDNを含む。）、直収電話（直加入、新型直収、直収ISDNの合計）、OABJ-IP電話及びCATV電話を指す。

【固定電話の契約数の推移】



注1: 「OABJ-IP電話」は、利用番号数をもって契約数とみなしている。  
 注2: 「CATV電話」は、CATV事業者が提供する固定電話サービスのうちアナログ電話を計上している。  
 なお、CATV事業者が提供するIP電話については「OABJ-IP電話」に計上している。

【固定電話の契約数における事業者別シェアの推移】



注1: NTT東西のシェアは、それぞれ加入電話（ISDNを含む。）、OABJ-IP電話の合計を示す。  
 注2: 2013年度第1四半期において、J:COMグループがKDDIの連結子会社となったことに伴い、J:COMグループの契約数については親会社のシェアに合算している。